

広報 **ふじ**

平成20年

8 | 5 No.945

もくじ

- ② 私の言葉で伝えたい、「戦争」
- ⑩ 幼稚園へようこそ
- ⑫ 公・私立幼稚園入園申請受付
- ⑬ 戸塚洋二氏逝去／敬老会
- ⑭ 暮らしのたより
- ⑱ 富士市写真館

吉原商業高校野球応援 7月13日 富士球場

おしえてコパルふじ ☎ 53-1111

私の言葉で

伝えたい、

「戦争」

「今まで、思い出すのも苦しかった。でも、いつか話しておかなきゃなって、思っていたんです」

広報ふじ5月5日号で、戦争体験を語ってくださる方を募集したところ、26人もの方々からご連絡をいただきました。今回、皆さんにお会いして当時のお話を伺うことができましたので、ご紹介します。

終戦から63年たっても、決して消え去ることのない、つらく悲しい記憶。皆さんのお話には、平和への強い願いが込められていました。

千の赤い結び目が、
守ってくれると信じて。



渡辺 愛子さん (83)
(天間)

出征する人の家族が、道行く女性に「縫ってやってください」と千人針を差し出す光景をよく見かけました。私は寅年で、千人針の結び目を年齢の数縫えるので、同級生とみんなでお寺に集まって、何人分もの千人針を縫いました。「おなかに巻くと弾に当たらない」という言い伝えを信じて、祈りつつ、なれない手つきで懸命に針を進めたものです。

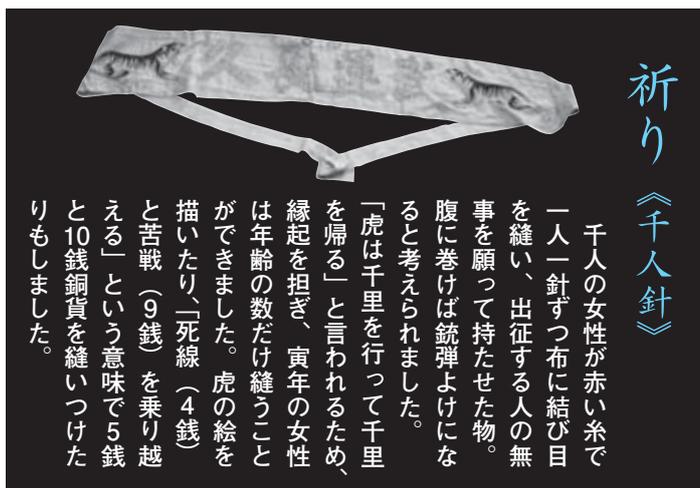
「これを着る兵隊さんが、
助かりますように」
願いながら縫った飛行服。



井出とし子さん (81)
(宮島)

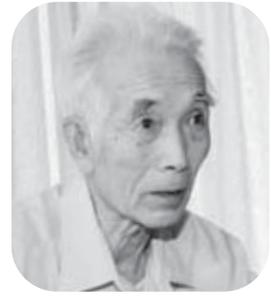
祈り 《千人針》

千人の女性が赤い糸で一人一針ずつ布に結び目を縫い、出征する人の無事を願って持たせた物。腹に巻けば銃弾よけになると考えられました。
「虎は千里を行って千里を帰る」と言われるため、縁起を担ぎ、寅年の女性は年齢の数だけ縫うことができました。虎の絵を描いたり、「死線（4銭）と苦戦（9銭）を乗り越える」という意味で5銭と10銭銅貨を縫いつけたりもしました。



私は、ミシンを扱えるという理由で、18歳のときに航空兵の飛行服をつくる工場に採用されました。飛行機が海に落ちても、搭乗員は助かるように、水に浮く「カボック」と呼ばれる綿を中に詰め、ミシンで縫い合わせます。兵隊さんが命をかけて敵に突っ込むときに、私の縫った服を着ていくのかと思うと、願いを込めずにはいられませんでした。「助かりますように…」得意のミシンを踏み、1枚1枚丁寧に縫いました。ミシンを使うときだけは、疲れも苦しい思いも忘れていられました。

おなかに入りさえすれば、
何でもよかった。



伊東 嘉信さん (81)
(伝法)

中学卒業後、東京にあげられて航空計器の会社に集団就職しました。しかし、「これから一旗揚げよう」と希望に燃えていたときに開戦となり、空襲を避けて、静岡の紡織会社などへ疎開しました。戦争のために生活は一変し、目が覚めたら仕事、仕事の毎日でした。電車の切符がなかなか買えなくて、疎開先から帰るのも一苦労でした。とにかく石けんや食べる物が足りず、食べ盛りの私は、何とか工夫しておなかを満たそうとしました。胃腸薬で空腹を紛らわせたり、人の畑から野菜を勝手にとってきたり…。今考えれば恥ずかしいことですが、当時はよくあることでした。入手方法や味はどうであれ、おなかに入ればよかったです。

一粒でも多く、
家族に食べさせてあげたかった。



増田 衛さん (72)
(神谷新町)

食べる物を手に入れるため、姉と一緒に汽車を乗り継ぎ、静岡市の家から掛川や磐田の農家まで買い出しに通いました。子ども2人の買い出しはねらわれ、肩かけカバンのひもを切られて盗まれたり、通りすがりの人にお金をだましとられたりしました。後で父に怒られるのが怖くて、泣きながら必死で取り返しに行ったものでした。戦後も生活は厳しく、たばこを欲しがる父のために、道に捨てられた吸い殻を拾い集めたり、給食でミルクやクジラの肉が出ると、「弟たちにあげたい」と、食べずに持ち帰ったりしました。当時は、米一粒もむだにせず物を大切にしましたし、友達みんなで団結し合っ

かなえない夢もあったのに…。戦争に左右された若者の未来。



佐野 稔さん (78)
(松岡)

旧制中学のとき、東芝富士工場で、毎日熟練工に絞られながら精密機械を修理していました。本当は将来の夢のために学校で勉強したかったけれど、どうにもならない願いでした。昭和20年6月。毎日のように富士山を目にかけて米軍機が飛来し、警戒警報

も「またか」というほど頻繁に鳴りました。学校の警備員もしていた私は、警報が鳴るたびに学校へ行く役目。この日も警報を聞き、機銃掃射を恐れながら、軒伝いに自転車走らせました。学校に着くと、私たちの工場の方からすごい音と煙が…。見ると、艦載機グラマンが、駿河湾から機編隊で次々と工場へ飛んで来て、波状攻撃の真っ最中。まるで航空ショーのようでした。工場はめっちゃくちゃに破壊され、生産活動はとまりました。多くの工員が犠牲になったはずなのに、軍の命令で被害情報はすべて秘密にされました。

軍のためにつくられた富士飛行場、こき使われた500人の中国人。



木下 達行さん (79)
(中央町1)

00人の中国人は、食べ物もろくに与えられずに休みなく働かされ、空腹を紛らわすためにイナゴやカエルを食べていました。1割の人が肺炎や胃腸炎で亡くなったそうです。

完成した飛行場では、私たちが対空機関銃用の穴を掘る傍らで、陸軍の若い少尉たちが飛行訓練を行っていました。今思えば、彼らは特攻隊として飛び立って行ったのでしよう。こっそりのぞいた兵舎の食堂には、貴重な白い御飯や卵、牛乳が並んでいました。



提供：市立博物館

労働力を補うために

働き盛りの男性が兵士として出征し、労働力不足となったため、生徒・学生たちの力が必要になりました。富士では主に東芝、大昭和、日産などの軍需工場、飛行場建設現場などへ強制的に動員されました。(写真は吉原高等女学校生徒)



空襲の恐ろしさ



昭和20年6月19日深夜、静岡大空襲。米軍のB29 12機が旧静岡市街地に焼夷弾を投下し、約2000人が死亡、焼失戸数は約2万7000戸に及びました。続いて旧清水市街地が7月6日に空襲、31日に艦砲射撃を受け、7月17日に沼津市街地が大空襲に遭いました。

雨のように焼夷弾が降り注ぐ。恐ろしい音が耳から離れない。



小岩井 郁恵さん (77) (石坂)

静岡大空襲の日、夜中にB29の大編隊が低い音を響かせ飛んできました。照明弾で昼間のように明るくなった後、焼夷弾が音を立てて降ってきました。家を出ると、通りは既に火の海で、逃げまどう人でごった返していました。でも皆、不思議と無言です。母と姉と、キウリ畑の畝の間に逃げ込んでうずくまり、目と耳を両手で覆って、震えながらお経を唱え続けました。「ブーン、バラバラバラ！」今も、あの夜に何度も聞いた音が耳から離れません。空襲の後、丸焼けになったまちに米軍機が飛んできて、「早く降伏すればいいから焼ける」の文字と、ごちそうの写真が刷られたビラをばらまきました。安倍川の河原では多くの死体が焼かれ、「焼け死んだ人もまた焼くんだな」と思いながら、煙を見つめました。

「百合子、生きていてくれ…」 私を思って駆けつけた父。



山本 百合子さん (77) (今泉)

通信の学校へ通うため、静岡市で寮生活をしていたときに、静岡大空襲に遭いました。焼夷弾の降る中、山へ逃げ、赤く燃えるまちを明け方まで眺めていました。「梅干しを口に含みて逃げたりき 焼夷弾落ち来るを 目の前にして」これはその時を思い出して詠んだ歌です。空襲の翌日、私を心配してすぐさま父が吉原から駆けつけてくれました。駅が爆撃され汽車が走っていません。ため、無理を言いつつ消防車に乗せてきてもらったそうです。焼死体がごろごろ転がる焼け野原を見て、絶望していたらしく、私を見つめるなり「百合子、お前は生きていないかと思つて来たや」と言い、ほっとして倒れ込みました。きつと、私を心配して一睡もせず、に夢中で駆けつけてくれたのでしょう。

幼い私を、みんなが守ってくれた。



齋藤 衛さん (73) (今宮)

10歳のとき、住んでいた清水のまちが、立て続けに空襲と艦砲射撃を受けました。軍需工場や造船所がねらわれたようです。艦砲射撃の直前、数日前の空襲の恐怖がよみがえった私は、「防空ごうへ行くのが嫌だ」とぐずりました。一人逃げおくれた私を、近所ガキ大将が連れて逃げてくれました。隣組の防空ごうは、既に人であふれ返っており、仕方なく2人も入り口近くで横になりました。すると、突然外で何かが光り、まぶしくて目が覚めました。火花かと思ひ、「キレイだなあ」と空を見上げた直後、地を揺らす爆音が。三保沖に浮かぶ駆逐艦から次々と撃たれる砲弾の威力は強く、大半は工場を飛び越えてきました。ガキ大将が、震える私をかばうような格好で寝てくれ、心強かったのを覚えています。

「一家の将来はお前の肩に」 父の言葉に決意した15歳。



青木 宏夫さん (79) (今泉)

出征した父の代わりに、長男の私は15歳にして一家を守る責任を痛感していました。学徒動員で岐阜県の航空機工場（川崎航空機）で朝から晩まで働いた後、疲れた体で食糧の買い出し。「これも家族のため」と毎日必死でした。昭和20年7月9日、岐阜市大空襲。その晩はなぜか嫌な予感がし、万一に備えて家族に身の周りを整理するように伝え、ゲートル着用のまま寝ました。空襲警報に続く焼夷弾の雨、あつという間に周りは火の海に。稲田の道は、避難する人であふれました。道端に、ももの肉が裂けた女性が座り込み、泣き叫ぶ赤ちゃんを抱えて助けを求めていましたが、家族を守るのに必死で、どうすることもできず通り過ぎました。夜が明けて、散り散りになっていた家族の無事を確認し、喜びもつかの間、家も食糧も丸焼け。これからどうやって生きていくか途方に暮れたとき、父の言葉が私を勇気づけました。焼け跡の米の倉庫から、人と奪い合うようにして手に入れた真つ黒焦げの米。一粒ずつ砂とより分けて、雑炊にしました。

旧ソ連軍が 満州へ侵攻

昭和7年、日本は中国の東北部に満州国を建国。「満蒙开拓移民団」をはじめ、多くの日本人が移住しました。しかし昭和20年8月9日、旧ソ連軍が満州へ侵攻し、日本人居留民は逃避行の末、日本へ引き揚げました。引き揚げまでには、旧ソ連軍による暴行などが相次ぎ、さらに飢えや病気で多くの人々が途中で脱落しました。親と生き別れになって中国で残留孤児となる人々も数多く出ました。
(写真は大連大広場)



逃げて「死」が待っていた。



安倍 和人さん(74)
(松岡)

昭和20年8月10日、満州の国民学校へ登校するなり「ソ連軍が攻めてくるから、帰って家族と一緒に行動しろ」と言われ、母とともに20人ほどの団体で延々とハルビンを目指して歩きました。途中、幼い子どもを連れた女性が、

仲間に迷惑をかけまいと、ありつたけのお金を現地の人に渡して子どもを預けたのです。泣きながら「ごめんね、ごめんね」と何度も頭を下げる姿に、私は女性の気持ちを思い、つらくて見ていられませんでした。

ようやくハルビンに着き、収容所で1年近く暮らしました。夏は短く、冬は極寒の地。発疹チフスがまん延し、薬もなく多くの人が亡くなりました。死体を細長い溝穴に重なるように埋めました。やがて穴がいっぱいになり、冬には道のわきに積み上げられて凍っていました。そのうち、心が「死」になれてしまうような気がしました。

弟にあげたかった、
白いミルク。



上杉 玲子さん(70)
(入山瀬2)

満州で暮らしていた私たち一家は、ソ連軍から逃れるため、慌ただしく家を出ました。父が「熟れたら末の弟に食べさせよう」と言っていたトマトが庭先に残ったままでした。警察官の父は、残務整理のため1日残ると言い、母に銃の使い方を教え、子ども5人を託しました。貨車に乗った私たちを直立敬礼で見送ってくれた父、それが8歳の私が見た最後の父の姿です。

終戦も知らないまま、死体が転がる真つ暗な道を逃げ続けました。1歳の末の弟は、ミルクがないため栄養失調でおなか膨らみ、母は仕方なく砂糖のかわりにサッカリン(人口甘味料)を入れた重湯を飲ませました。それは体に合わず、下痢をしてしまうのは承知の上でしたが、飢えて苦しむよりは、ましだと考えたのでしょう。やがて、弟はミルクを求め続けながら死にました。私たちは、小さな弟をたんすの引き出しに入れて焼きました。弟は、細かい骨になりました。今でも、真っ赤なトマトと白いミルクを見るたび、「弟にあげたかった」と強く思うのです。

「最期は私の腕の中で…」命がけて私を抱き帰った母の愛。



垣谷 芳江さん(64)
(川成新町)

昭和21年、母は2歳の私を連れて、満州から引き揚げてきました。その道中、子どもは泣くと捨てられてしまうため、現地の人に「育ててあげるから置いて行きなさい」と言われたそうです。でも母は「手放すくらいなら、私の腕の中で」と、泣き声が漏れないよう私を毛布でぐるぐる巻きにし、ほかに何も持たずに私だけを抱えてす

し詰め状態のトロッコに乗りました。途中、おしめもかえられず飲まず食わずだったのに、私は泣くどころか身動き一つせず、母は「死んだのか」と思ったそうです。舞鶴港に着いて急いで毛布を解くと、私は母を見てにっこり笑ったそうです。母はその笑顔を見て、「頑張って生きていこう!」と励まされたと言います。

戦後、母子2人の生活は、あちこちに身を寄せながら苦労の連続でした。でも母はいつも私のことを一番に思い、私は母の愛に支えられ生きてきました。私の願いは、戦争を繰り返さず、子どもが私のような思いをすることのない世界になってほしい、それだけです。

見たこともないはずの戦車の夢に、今もおびえる夜。



鈴木 藤雄さん (83)
(伝法)

最後の初年兵として静岡34連隊に入隊しました。「蝟壺壕」と呼ばれる一人用の縦穴に身を潜め、敵の戦車が来たら、爆弾を抱えて体当たりする肉弾訓練を毎日続けました。「私もいつか飛び込んで死ぬんだ」と覚悟していました。

静岡大空襲の翌日、被害を受けた静岡市内の整理作業を行っている時、焼け野原で茫然と立ちつくす人々が。「兵隊さん、日本は絶対に負けません！」と興奮して叫んだ人が忘れられません。そして終戦の日の夜、どの家も電球を覆っていた黒い布を外し、明かりが一斉にともり、まぶしいくらいでした。私は、明るいまちを眺め、恐怖から解放された喜びで胸がいっぱいでした。しかし63年たった今でも、実際に見たこともないはずの戦車が向かって来る夢を見て、飛び起きることがあります。

空襲警報の響く中、悔し涙の花嫁姿。



遠藤 初男さん (88)
ゆき子さん (86)
(伝法)

私たちが結婚したのは、戦況厳しい昭和20年5月。親の紹介で、結婚式当日に初めて会いました。戦時中、派手な式は禁じられましたが、花嫁姿にあこがれていた私は、無理を承知で頼み込み、髪を「文金高島田」に結び、豪華な「江戸褌」の着物を着せてもらいました。ところが、料理が出しの際途中で警察に没収されてしまい、お客さ

んに申し訳なくて、私はずっと下を向いて涙をこぼし、夫の顔もまともに見られませんでした。そのうち空襲警報が鳴り、三三九度の杯も交わさぬまま、着物が汚れるのも気にせず防空壕へ逃げ込みました。(ゆき子さん談)

離れていても、お互いが心の支えだった。

「新婚」を実感する間もなく、私は再召集され、離れ離れに。終戦後は田畑の整備に奔走しました。妻は、家族の食糧を確保するため、交換する着物を持って買い出しに走り回ってくれました。今思うと、離れている時間が長くて、いつもお互いが心の支えでした。一緒になれたおかげで、苦しい時代を乗り切れたと幸せに思っています。(初男さん談)

「夫が無事に帰って来ますように」異国の地で一人祈る。



山宮 リャウさん (89)
(天間)

昭和15年、夫の仕事の関係で台湾へ渡りました。夫は、翌年台湾で入隊。「もしものことがあったら、茶だんすに小さい瓶があるから、飲みなさい」と言われました。それは劇薬でした。異国の地で一人、赤ちゃんを抱えて暮らすのは、本当に心細いものでした。夫の無事を確認する連絡手段はなく、

ラジオの情報だけが頼り。毎日、近所の神社へお参りしては、「早く戦争が終りますように、夫が無事に帰って来ますように」とお願いしていました。終戦後、子どもと日本へ戻り、夫の実家に身を寄せました。昭和21年5月のある夜、「こんばんは」と戸をたたいた音が。そこには、やせこけて、ポロボロの軍服を着た男性が立っていました。中国での捕虜生活を終えた夫でした。私は夫だと気づかず、悲鳴を上げてしまいました。顔つきが変わるほど、夫は大変な思いをしてきたのでしょうか。待ち望んでいた夫の帰国に、うれしさがゆっくりとこみ上げてきました。

走り去る列車に、別れの言葉。



長沢 貴信さん (77)
(宮島)

原駅から沼津中学校へ通う途中、戦争末期にはよく駅のホームで兵隊の乗った列車を見かけました。その列車はいつもよりの戸がかたく締め切られ、連結を待っていました。時々、戸のすき間からホームへ手紙がポトリと落ちてきました。憲兵にはれないよう、「代わりに手紙を出してくれ」と言う意味だと思ひ、何度か拾ってポストに入れました。きつと家族へあてた手紙でし

よう。兵隊は、家族への思いを伝えることさえ禁じられていたのです。そんな中である日、出征した叔父の上司が手紙をくれて、叔父の乗った列車が、「〇日に家の近くを通過して、激戦地へ向かう」と教えてくれました。親族みんなで線路のそばでかがり火をたいて、通り過ぎる列車を見送りました。一瞬、窓から体を乗り出して手を振る人が見えました。叔父が私たちに気づいたのだと思います。おなかに子どもがいた叔母は、目的地の戦況が悪いと知りながら、どんな思いで見送ったでしょう。その後「サイパンで戦死」の知らせが届き、遺骨も戻って来ませんでした。

命をかけて

《特攻隊》

戦争末期、陸海軍合同での大規模な作戦として、爆弾・爆薬を搭載した軍用機や高速艇などが、敵艦船などを目標に、乗組員ごと体当たりする戦法が実施されました。それは、乗組員が生還する可能性はないに等しいものでした。九州・台湾から行われた航空特攻とあわせて、艦艇による水上特攻や、人間魚雷「回天」、特攻艇「震洋」などの体当たり艇などが投入され、多くの命が失われました。



新井 敬一さん (故人・享年88)
の体験を語ってくれた
妻 新井 やえさん
息子 淳一さん (中島)

「日本へ帰してやりたかった」と
繰り返して悔やんだ。

夫は、「伊号第366潜水艦」に乗艦し、潜水艦攻撃のほか、戦地への食糧輸送も行いました。南方の島で戦う兵隊は、皆、米俵も担げないほどやせ衰え、見るにたえなかったそうです。帰りには傷病者を乗せて帰るもの、途中で息絶えてしまう人も多く、海に流して水葬にしたそうです。「あれではサメのえさだ。生かしたまま家族のところに帰してやりたかった」と繰り返して話していました。(やえさん談)

昭和20年8月11日、「回天」という人間魚雷を潜水艦から発射したときのこと、よく聞かせてくれました。「せめてあと4日終戦が早ければ、仲間は死なずに済んだのに」と。よっぽど父も悔しかったでしょう。(淳一さん談)

敬一さんの手記から(省略あり)
「それは、太平洋戦争中でも日本海軍最後の潜水艦攻撃と思う。私の乗艦していた潜水艦が、南太平洋上で敵の大輸送船団へ回天戦と魚雷攻撃を決行した。艦長の「搭乗員乗艇」の命令で、特攻隊員は自分の艇に乗り組む。最後の号令「発進」と艦内へ伝令され、回天は轟音を私どもの頭上に残して敵艦船に向かって突進するのである。次々に3基発進されて、発進後40数分にして爆発音は私どもの潜水艦まで聞こえた。発進した特攻隊員が、魚雷頭部に充てんした1・55トンの炸薬とともに、小型潜望鏡を頼りに相手の艦船を確かめながら海中を突き走り、敵に体当たりする。この事実を、後世に話し伝えたい」



伊号第366潜水艦

巨大な船体が、海に沈む。まるで氷が溶けるように。



依田 国友さん (82)
(今泉)



昭和19年10月23日、「レイテ沖海戦」。私の乗った一等巡洋艦「高雄」を含む艦隊4隻は、フィリピン沖で米軍潜水艦から魚雷攻撃を受けました。艦橋で見張りをしていた私は、前方に白い雷跡を発見し、とっさに艦長に報告しました。同時に、大地震が起きたかのよう

うな衝撃とともに、赤白黒の水しぶきが立ち上りました。船は大きく傾き、斜めになった甲板の上を、海水とともに乗組員がすべり落ちていきま死で船にしがみつきました。目の前で、味方の船「愛宕」「摩耶」も爆撃を受け、海中へ沈んでいきました。私は斜めになった「高雄」の上へ、海に投げ出された仲間を必死で拾い上げました。今でもそのときの夢を見ては、うわ言で「頑張れー！」と戦友の名前を呼び続けることがあります。

「お前は若いんだから、絶対死ぬな」言い残して班長は出撃していった。



滝沢 文治さん (79)
(中里)



17歳であこがれの海軍に志願し、長崎の魚雷艇攻撃隊に配属されました。班長がいたので、うれしくて真つ先に訪ねました。久々の笑顔の面会のはずが、班長はいきなり私を殴り、「おれはふるさとの墓にいるから会いに来い。お前は若いんだから、どんなことがあっても絶対死ぬなよ！」と、どなった

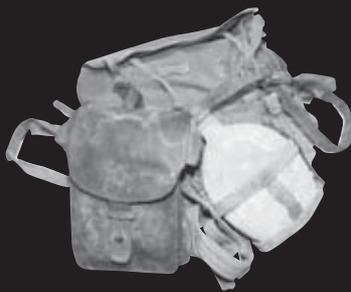
のです。翌日班長は、魚雷艇で敵に体当たりするため沖繩へ出撃しました。「お国のために」命をかける時代なのに、なぜ「死ぬな」と言うのかかわりませんでしたが、その言葉が胸に引っかかり、仲間が「おれを行かせてください！」と出撃に名乗りを上げる中、「意気地なし！それでも帝国海軍軍人か」とののしられても、「決して死ぬのか」と手を挙げませんでした。出撃する前の夜は、皆とお酒を飲み軍歌を歌って泣いていた仲間も、勇敢に旅立っていきました。彼らを何度も見送りながら、自問自答の日々を送りました。しかし、今、私が生きているのは、確かに班長のおかげだと思っています。



巡洋艦「高雄」

戦いは続く。 敵と、飢えと、 病気と…

戦争末期、南方の島々に送られた兵士たちへは、思うように食糧の補給もされませんでした。ジャングル内での無謀とも思われる作戦の中、敵の攻撃だけでなく、飢え、マラリアをはじめとする病気により、次々と兵士が倒れていきました。



佐野さん作のタバコ入れ



ラバウル飛行場

「一緒に祝杯をあげよう」手を握って誓い合った戦友の死。



佐野 錦一さん (88)
(中島)

静岡34連隊に入隊し、開戦と同時に香港、ニューブリテン島（現パプアニューギニア）などの戦地へ赴きました。戦地へ向かう船の中で、親友の下田君、小沢君と3人で、手をかたく握り合いながら「無事に帰れたら、それぞれのふるさとで一緒に祝杯をあげよう」と誓いました。ところがある日、情報係として戦病死者の名簿整理をしてい

た私のもとに、親友2人が「ガダルカナル島で戦死」との報告が入ったのです。ショックで言葉が出ませんでした。どんなに訓練を積んでいても、実際に敵の前にすると、一步を踏み出すのが本当に「怖い」と感じた戦争。そんなつらい日々も、「無事で帰ろう」という同じ思いで頑張る親友がいたから、乗り越えられたのです。そのきずなは親子以上でした。彼らのふるさとにお墓参りに行くたびに、「3人でお酒を飲んだら、どんな感じだっただろう…」と想像します。



美しく、平和な島が戦場に変わった。



佐野 一郎さん (86)
(岩本)

22歳で海軍に入団し、ニューブリテン島のラバウル飛行場で、滑走路の修復などを担当しました。私たち一番下の兵隊は、ことあるごとに、罰として「海軍精神棒」で、おしりが赤黒くはれ上がるほどたたかれました。

食糧を運ぶ船が来なくなると、仕事用のブルドーザーで畑を耕し、自給自足で食いつなぎました。初めて訪れた南国の島は、「ここが戦地か？」と疑いなくなるような美しい景色が広がり、私たちの心をいやしてくれました。戦争さえなければ、のどかで平和な島だったでしょう。このタバコ入れ（写真上）は、拾ったヤシの実と米軍の落下傘のひもを使ってつくりました。手で巻いた葉たばこを入れて、いつも左の腰にぶら下げていた愛用品です。今も時々見るとは当時を思い出しています。

孤独な夜は、歌を心の励みに。



塩崎 安治さん (84)
(東柏原新田)

入隊して1か月の訓練の後、朝鮮を経て、私たち陸軍兵は、どこへ行くかも知らされず、馬と一緒に船に詰め込まれました。昭和19年12月末、フィリピン・ルソン島に到着し、その晩、大量の武器や食糧を載せたままの船が、敵の攻撃で沈められてしまいました。残ったわずかな食糧と武器を持ち、ジャングルの中、どこを歩いているのかもわからないまま歩き続けました。

昭和20年6月、米軍の総攻撃を受け、私は腰と足首に貫通銃創を負いました。腰に巻いていた千人針で止血しましたが、1人だったので身動きがとれませんが、長く孤独な一夜でした。不安を紛らわすために、一晩中、懐かしい日本の歌を口ずさんでいました。無事、味方に助けられたものの、部隊の移動にはついて行けません。乾パンと自決用の手りゅう弾を渡され、自活生活が始まりました。イモのツルを食べ、雨水を飲み、歌を歌って自分自身を励ましました。目の前で衰弱死する仲間もたくさん見ましたが、私はどうしても日本へ帰りたいかったです。生死の境をさまよいながら、何とか終戦まで生き延びました。

軍隊にあこがれ、裏切られた青春時代。



佐野 正則さん (84)
(広見東本町)



映画の影響で軍隊にあこがれていたの
で、入隊が決まった
ときは素直に喜びま
した。でも、いざ入
隊すると厳しい訓練の毎日。「面会に
なんて来なくていい」と強がつていた
ものの、戦地へ赴く前に、母と弟がご
ちそうを持って会いに来てくれたとき
は本当にうれしくて、家族のありがた
みを強く感じました。

戦地は中国。空襲のある昼を避け、
真つ暗な夜の山道を延々と歩き続けま
した。靴はぼろぼろ、足首からつま先
まで重度の水虫になり、歩くことさえ
苦痛になりました。馬も転げ落ちるよ
うな危険な場所を、果てしなく歩くつ
らさに耐えられず、装備の手りゅう弾
や帯剣で自害する仲間もいました。私
も「早く死んでしまいたい」と思う瞬
間が何度もありましたが、そんなとき
は、懐かしい家族の顔が思い浮かび、
思いとどまったのでした。

「きさまらは軍の消耗品だ」ジャングルに捨てられた戦友たち。



市川 正義さん (85)
(天間)

開戦前から、英領北ボルネオ島タワ
オで熱帯林調査の仕事をしていました。
開戦当初から10か月間の監禁生活を送
り、一年半を軍隊で過ごしました。
タワオから4か月かけてジャングル
を通り抜け、ブルネイに進出した行軍
では、7割近い戦友を失いました。雨
季で降雨量が多く、ジャングルの道は
泥沼と化し、マラリアや熱帯潰瘍で歩



市川さん作の作戦行程図

けなくなつた兵隊は、その場に置き去
りにされました。先に行く部隊に捨て
られたも同然な兵隊たちが、装備品を
捨て、わずかな食糧だけを身につけて
道端に倒れていました。私たちが通る
と「連れて行つてくれ」と足にすがり
ますが、「頑張れ、俺たちは先を急ぐ」
と、苦しみつつ振り切つて進みました。

入隊時、「きさまら
は軍の消耗品である」
と部隊長に言われ、
愕然としました。こ
の作戦で、消耗品の
ように捨てられた戦
友たち。今も忘れら
れません。

運命を分けた運転免許。私が仲間の分まで生きたい。



藤井 三郎さん (99)
(天間)

ビルマ(現ミャンマー)で「インパ
ール作戦」に従軍した私は、当時では
珍しく自動車運転免許を持っていたの
で、大佐の運転手を任せられました。と
ころが、行きは自動車で通れたジャン
グルの道が、いざ退却となつたとき、

雨季に入ったために何本もの川がはん
らんし、行く手を阻んでいました。軍
の本部を目指して何日もさまよい歩
中、次々と仲間が倒れていきました。
大半が餓死か病死です。「今度はお前か
」助けたくても自分の命も危ない状
況です。毎日敵の攻撃におびえながら、
赤痢やマラリアにもかかり、フラフラ
になつて本部にたどり着きました。
仲間を置き去りにしたことは、今も
悔やまれます。100歳を迎える私は、
あのとき助けてやれなかつた仲間の分
まで、元気に生きようと思つています。

「…やっぱり、戦争は
しちやいけないよ」

インタビュ어의最後に、皆さん
は同じことを話してくれました。
戦争を知る人たちの思い、平和へ
の願いを、私たちは忘れてはなら
ないのです。
これから先、未来のために。

終戦当時に引揚者の皆さんからお預かり
した、通貨・証券などを返還しています

戦争後に外地から引き揚げてきた皆さんが、
税関などに預けた通貨や証券を返還しています。
返還請求は本人のほか、家族でもできます。

問い合わせ 名古屋税関 清水税関支署
田子の浦出張所 ☎33-2791



高校生とリレー競走

幼稚園へ ようこそ

幼稚園は、人とのかかわりをはじめとする「指導の5本柱」を軸に、幼児教育を進めています。幼児は遊びを通して、さまざまな体験を重ね、小学校以降の学習の基盤をつくっていきます。今回は、遊びを大切にした教育を紹介します。

★人とのかかわり★

人とかかわる力や思いやりの心を育てます



中学生と指人形遊び



小学生とあやとり



デイサービス訪問



英語の先生と話そう

人との
かかわり

幼稚園

指導の5本柱

表現

「遊び」は重要な学習です！

幼稚園は、遊びを大切にした教育を行っています。この時期に思い切り遊ぶことで、その後の遊びや創造性が豊かになると言われています。

★表現★

豊かな感性や創造性、表現する力を育てます



東京タワー完成



劇遊び



リズムに合わせて(リトミック)

★健康★

たくましく、健康な心と体を育てます



鉄棒で仲よし



力いっぱいキック!



お弁当おいしいね

「開放教室」やっています!



幼稚園に入る前のお友達集まれ!
入園前の幼児が、自然な形で子ども社会に参加していくためのふさわしい遊び場として、幼稚園を開放しています。
詳しくは、お近くの幼稚園までお問い合わせください。



健康

子どもが初めて
出会う学校です

言葉

★言葉★

言葉が豊かになるように



絵本大好き(図書館での貸し出し)



環境

★環境★

好奇心や探求心を育てます

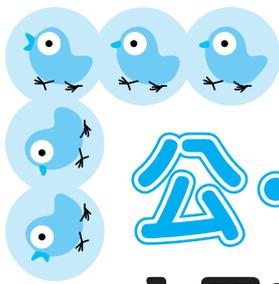


調べてみよう(自然観察)

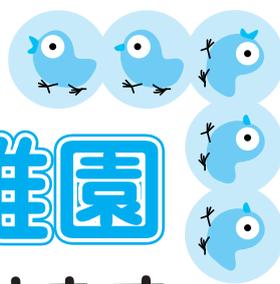
人とのかわりを大切に
幼稚園での教育は、木に例えると根この部分であり、学習の基礎となる部分です。
幼稚園は、さまざまな遊びや体験を通じた教育をしています。子どもたちが集団生活の中で、自分の意見を言ったり、人の意見を聞いたりできる環境づくりをしています。
また幼稚園は、保護者や小・中・高等学校、高齢者、地域の人たちとのかわりを大切にしています。地域の人たちなどの協力を得ながら、さまざまな世代の人たちとふれあい、交流をしています。将来社会に出たときに、人とうまくかわっていきけるような子どもに育ってほしいですね。



田子浦幼稚園
中村 直美 園長



平成21年度



公・私立幼稚園

入園申請を受け付けます



市内には、公立・私立を合わせて、25園の幼稚園があり、10・11ページで紹介したとおり、遊びを大切にしている教育を行っています。

11月1日、富士川町と合併後は、3園ふえますので、平成21年度は28園の公・私立幼稚園の入園申請を受け付けます。

★詳細は、各幼稚園へお問い合わせください。

田子浦・岩松・原田・大淵幼稚園では、「ことばの教室」を開いています。対象は、市内在住の3歳から小学校入学前の、言葉につまずきのある幼児です。ほかの幼稚園・保育園の園児、在宅児の相談も受け付けています。

該当児

4歳児
平成16年4月2日～平成17年4月1日に生まれた幼児（するが・富士ふたば・さくら台幼稚園を除く）

3歳児
平成17年4月2日～平成18年4月1日に生まれた幼児（元吉原幼稚園を除く）

満3歳児
幼児が満3歳になった時点で入園が可能

※下表の★印の私立幼稚園のみ受け入れ。

受付方法

公立幼稚園
申込用紙配布 9月4日(木)～9日(火)に各幼稚園で配布(土・日曜日は除く)
申込受付 9月16日(火) 9時～16時
※保護者は、入園を希望する幼稚園へ幼児と一緒に行って、直接申し込みをしてください。
※入園希望者が定員を超えた場合は、抽せんとなります。

私立幼稚園
申込用紙配布 9月4日(木)から各幼稚園で配布(土・日曜日は除く)
申込受付 9月16日(火)から(定員になり次第締め切り)

□は私立

地区	幼稚園名	募集人数(人)		住所	電話	地区	幼稚園名	募集人数(人)		住所	電話
		3歳児	4歳児					3歳児	4歳児		
富士地区	田子浦幼稚園	70	若干	川成島138-1	61-2154	吉原地区	元吉原幼稚園	35	若干	今井3-4-3	33-0169
	浜幼稚園	35	10	中丸892-91	61-1422		昭和幼稚園	70	19	比奈160	34-0300
	岩松幼稚園	70	5	松岡804	61-1227		原田幼稚園	35	35	原田480	52-1202
	南幼稚園	35	9	横割5-10-1	61-8055		大淵幼稚園	35	若干	大淵3022	35-0049
	するが幼稚園	100	若干	中島122	61-8778		★鈴川幼稚園	30	若干	鈴川東町16-17	32-0475
	富士ふたば幼稚園	110	若干	水戸島本町2-10	61-3121		富士リズム幼稚園	90	若干	伝法1740-1	53-6969
	ゆきよし幼稚園	90	若干	宮島251-5	63-3083		★曙幼稚園	90	若干	吉原4-17-45	52-0539
	富士中央幼稚園	45	3	蓼原113-15	60-0700		★いまいづみ幼稚園	90	若干	今泉5-8-2	52-6006
鷹岡地区	天間幼稚園	35	若干	天間1047-1	71-1638	★神戸幼稚園	70	25	富士見台1-6-8	21-3805	
	★たかおか幼稚園	90	20	厚原1385	71-3085	★須津幼稚園	90	10	神谷新町227	34-2295	
	★富士光明幼稚園	55	若干	厚原388-8	73-1152	★吉原聖母幼稚園	60	7	南町1-30	51-6178	
富士川地区	富士川第一幼稚園	35	若干	岩淵99-1	81-0480	藤田幼稚園	90	若干	大淵2964-1	35-3178	
	富士川第二幼稚園	35	若干	北松野1927	85-2122	みのる幼稚園	90	若干	富士見台7-9-8	21-4115	
	★さくら台幼稚園	50	若干	中之郷3779	81-0603	わかば幼稚園	80	若干	大淵3	21-0115	

問い合わせ 子育て課 ☎55-2762 FAX51-0247

名誉市民

戸塚洋二氏が逝去

富士市名誉市民で素粒子物理学者の戸塚洋二氏が7月10日逝去されました。ここに生前の功績をたたえ、謹んでお悔やみ申し上げます。



業績

昭和62年の超新星爆発時に、ノーベル物理学賞に輝いた小柴昌俊東京大学特別栄誉教授とともに、素粒子観測施設カミオカンデにおいて、太陽系の外から飛来した超新星爆発によるニュートリノ(※)の観測に世界で初めて成功し、ニュートリノ天文学という新しい研究分野が誕生しました。また、カミオカンデは太陽から飛来する太陽ニュートリノの観測にも成功しました。

平成13年には、新施設スーパーカミオカ

ンデでの精密な観測結果をもとに、ニュートリノ振動が起きている(ニュートリノに質量がある)ことを国際学会で発表、大きな支持を得ました。

※物質を構成している最小の粒子を素粒子と言います。原子核の陽子や中性子を構成する粒子の仲間(クォーク)と、電子の仲間(レプトン)が素粒子と考えられています。レプトンのうち、電気を持たない粒子をニュートリノと呼んでいます。

昭和17年、富士岡に生まれる。吉永村立吉永第一小学校、吉原市立^{くまが}穆清中学校、静岡県立富士高等学校を卒業後、東京大学へ入学。同大学大学院理学系研究科博士課程修了。その後、東京大学宇宙線研究所所長、高エネルギー加速器研究機構長など要職を歴任。世界的な素粒子物理学者として国内外の数々の賞を受賞。平成14年には、富士市初の名誉市民となる。

◆戸塚洋二氏 追悼展◆

と き 8月23日(土)~31日(日)9:00~17:00(火~金曜日は19:00まで)
8月23日は10:00から、31日は15:00まで、25日(月)は休み。
ところ 中央図書館本館 エントランスホール
内 容 写真パネルや関係資料などで戸塚洋二氏の業績を紹介する。



敬老会が行われます



と き	地区・施設	ところ
9月7日(日)	10:00~ 青葉台	青葉台小学校体育館
	11:00~ ケアハウス慈恩(じおん)	ケアハウス慈恩
9月7日(日)を中心に各町内ごと実施		
9月9日(火)	伝法公会堂など	伝法公会堂など
9月10日(水)	ケアハウス富士の里	ケアハウス富士の里
9月11日(木)	神戸	東部市民プラザ
9月12日(金)	浮島	東部市民プラザ
9月13日(土)	10:00~ 天間荘	天間荘
	みぎわ園	みぎわ園
	ヴィラージュ富士	ヴィラージュ富士
	なかざと	なかざと
	10:15~ 岩本園	岩本園
10:30~ 鑑石園	鑑石園	
11:00~ ケアハウスコフレアントレド富士	ケアハウスコフレアントレド富士	
9月13日(土)を中心に各町内ごと実施		
9月13日(土)に各町内ごと実施	広見荘ほか	広見荘ほか
9月14日(日)	10:00~ 吉原	ラ・ホール富士
	吉永	東部市民プラザ
	原田	原田小学校体育館
	吉永北	吉永第二小学校体育館

と き	地区・施設	ところ
9月14日(日)	10:00~ 丘	丘小学校体育館
	天間	天間小学校体育館
	すどの杜	すどの杜
9月14日(日)を中心に各町内ごと実施		
9月15日(月)	10:00~ 富士楽寿園	富士楽寿園
	岩松北	公会堂など
	須津	東部市民プラザほか
	大淵	大淵第一小学校体育館
	岩松	岩松小学校体育館
	田子浦	田子浦小学校体育館
	鷹岡	鷹岡小学校体育館ほか
13:30~	かたくら明和園	かたくら明和園
	加島の郷	加島の郷
9月15日(月)を中心に各町内ごと実施		
9月15日(月)に各町内ごと実施	富士駅北1	公会堂など
	富士駅北2	
	富士見台	
9月16日(火)を中心に各町内ごと実施	富士北	公会堂など
	富士南	
9月17日(水)	元吉原	東部市民プラザほか
9月17日(水)	10:00~ 駿河荘	駿河荘

◆敬老会対象者

75歳以上の人(昭和9年4月1日以前に生まれた人)

◆敬老祝金対象者

83歳以上の人(大正15年4月1日以前に生まれた人)

問い合わせ

福祉総務課

☎55-2760

FAX 52-2290

赤ちゃんハイハイ ヨチヨチレース参加者

健康対策課 ☎64-8994

と き 9月23日(火) 秋分の日
10:00~12:30

ところ フィランセ西館2階保健指導室
対 象 市内在住で1歳3か月までの子ども

定 員 78人(応募者多数の場合抽せん)
申し込み 8月29日(消印有効)までに、往復はがきに住所、赤ちゃん^{ふりがな}と保護者の氏名、性別、電話番号、ハイハイまたはヨチヨチレースの希望を記入し、〒416-8558 本市場432-1 フィランセ健康対策課へ

富士市アマチュア無線 非常通信協力会会員

防災危機管理課 ☎55-2715

活動内容 レピーターを使った野外通信訓練や防災訓練などへの参加、ボランティア本部開設訓練など
資 格 市内在住・在勤で、アマチュア無線の免許を有し、現在開局(コールサイン)している人など(市内の無線クラブなどに入会している人を含む)

会 費 無料

申し込み 入会申込書(防災危機管理課で配布。市ウェブサイトからダウンロードも可)に必要事項を記入し、直接またはFAX・Eメールで防災危機管理課へ

☎51-2040

✉bousai@div.city.fuji.shizuoka.jp

「第43回 富士市発明くふう展」作品

工業振興課 ☎55-2779

展示期間 9月13日(土)、14日(日)
9:00~17:00

ところ ロゼシアター展示室

出品物 日用品から機械まで、生活の中のちょっとしたアイデア品や産業の発展に役立つもの(作品の実物または発明・意匠など)

申し込み 9月1日~8日に、小・中学生は学校ごとに学校教育課へ、高校生以上は、出品者名簿(各地区まちづくりセンター、図書館などで配布)を、直接またはFAXで工業振興課(☎51-1997)、富士商工会議所(☎52-9796)、鷹岡商工会(☎71-9920)のいずれかへ

水を大切にする“気持ち”をください 下水道いろいろコンクール作品

下水道総務課 ☎55-2800

9月10日は「下水道の日」。下水道にちなんだ作品を募集します。

- ★絵画・ポスターの部(小・中学生)
 - ★作文の部(小・中学生)
 - ★書道の部(小・中学生)
 - ★新聞の部(小・中学生)
 - ★標語の部(どなたでも応募できます)
- ※各部門ごとに規定があります。詳しくは下水道総務課へお問い合わせください。

申し込み 9月4日(必着)までに、直接または郵送で、〒417-8601 富士市役所下水道総務課へ

「わたしの主張2008」県大会

学校教育課 ☎55-2869

と き 8月22日(金) 13:00~16:00

ところ ロゼシアター中ホール

内 容 中学生の意見発表。吉原東中学校生徒による「大龍の舞」

申し込み 当日直接会場へ

中央病院から救急で受診する人へのお願い

中央病院は、富士市救急医療体制の一翼を担っていますが、限られた人数で救急診療を行っているため、次のことにご理解とご協力をお願いします。

医師や救急隊員により重症患者と判断された人が、中央病院の救急外来に搬送されることになっているた

め、救急で受診する場合は、まず地域の診療所や病院を、夜間休日などは救急医療センターを受診してください。

やむを得ず、中央病院の救急外来の受診を希望する場合は、必ず電話で連絡してください。医師に相談の上、受診方法をお伝えします。

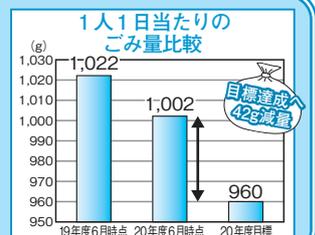
中央病院 救急外来 ☎52-1131 (内線 2128)

～めざせ!ごみ減量～ スマートだより

★21箇条の富士市ごみ憲章

『何かと役立つダンボール、意外と便利な包装紙。』

きれいな段ボールや包装紙などは、古紙として出す前に別の使い方をしましょう。特に段ボールはいろいろなことに使えて便利です。



8月の水道料金・下水道使用料

お客様センター ☎55-2846

～納入は便利で確実な口座振替で～

申し込み 直接、市指定金融機関の窓口へ
持ち物 通帳・印鑑(届印)・水栓番号(各世帯配付の「使用水量等のお知らせ」に記載)

○納入期限 8月31日(日)

(納入通知書は、今月中旬に郵送します)

○口座振替日 8月28日(木)

※納入は2か月に1度です(地区によって納入月が異なります)。



お知らせ

夜間納税相談 ～市役所～

(市県民税・固定資産税・軽自動車税)
8月25日(月) 17:00～19:00
収税課(3階) ☎55-2730

市民活動支援補助金の申込受付

市民協働課 ☎55-2701

市民生活や地域のまちづくりなど、公益的な活動を行う団体への補助金の申し込みを受け付けます。

対象 市内在住・在勤・在学の人
が5人以上集まり、活動拠
点が市内にある団体

申し込み 9月1日～30日に、申込
書(市民協働課、富士市民活動セ
ンターで配布)に必要事項を記入
し、直接市民協働課または富士市
民活動センターへ

～愛鷹連峰を訪れる皆さんへ～

消防本部警防課 ☎55-2856

楽しく安全な登山をするために、
次のことに注意しましょう。

- 環境保全、植生保護のため決めら
れたルートを歩きましょう。
- 動植物、鉱物などは採取しないよ
うにしましょう。
- 「落石」などの危険に注意しましょう。
- なれた指導者とともに登山しましょう。
- ごみは持ち帰りましょう。
- 登山口に設けられた、登山者ポスト
に登山者カードを投函しましょう。

8月の一斉防疫 (希望した町内のみ実施)

環境総務課 ☎55-2768

日	午前	午後
19日(火)	久沢南	久沢北
20日(水)	鷹岡本町1・2	入山瀬東、入山瀬西
21日(木)	入山瀬久保、 入山瀬天王町	大久保町、大淵町2
22日(金)	大淵町1	八王子町1
25日(月)	大淵町3	吉原富士本中町
26日(火)	八王子町2	中野町1
27日(水)	大富町	次郎長町、希望ヶ丘
28日(木)	城山町	城山町、穴原町2
29日(金)	落合町	穴原町1
9月2日(火)	片倉町	三ツ倉町、中野町2、 大峯町

防衛省採用試験案内

市民課 ☎55-2746

募集区分 ①2等陸・海・空士、②
一般曹候補生、③航空学生
資格 ①②18歳以上27歳未満、③
高校卒(見込みを含む)以
上21歳未満
受付期間 8月1日～9月10日
問い合わせ 自衛隊富士地域事務所
☎51-1719

募 集

発掘調査補助員

文化振興課 ☎55-2875

勤務期間 9月～平成21年2月
9:15～16:15(土・日曜日、
祝日、雨天は休み)
勤務地 今泉(六所家発掘調査現場)
業務内容 発掘調査現場で調査員の
補助業務(主に図面作成補
助など)
申し込み 8月20日～22日(必着)
に、市販の履歴書に必要事
項を記入し、直接または郵
送で、〒417-8601 富士市
教育委員会文化振興課へ

救急医療センター臨時職員 (看護職員)

保健医療課 ☎55-2739

業務内容 ①平日の夜及び土・日曜
日、祝日、年末年始の昼・
夜の看護業務(変形勤務)
②土・日曜日、祝日、年末
年始の昼の看護業務
応募資格 ①看護師または准看護師
免許を有する50歳くらいま
での人、②看護師または准
看護師免許を有する人
雇用期間 平成21年3月31日まで
(年度ごとに更新あり)
募集人員 各若干人
申し込み 随時募集しています。履
歴書(写真添付)及び所定
の用紙(救急医療センター
で配布)を持参し、救急医
療センターへ
問い合わせ 富士市救急医療センター
☎51-0099(月～金曜日 8:30～17:00)

放課後児童クラブ指導員 (丘小学校区)

子育て支援課 ☎55-2731

定員 1人(週5日勤務できる人)
勤務時間 12:20～18:30
対象 保育士、幼稚園・小学校教
諭などの資格を持つ人
申し込み・問い合わせ
丘児童クラブ(14:00～18:00)
☎72-1640

富士市臨時職員 生涯学習指導員

教育総務課 ☎55-2865

雇用期間 10月1日から平成21年3
月31日
応募資格 社会教育主事などの資格を
持ち、青年活動に理解、意欲のある人
勤務場所 青少年センター
勤務時間 ①8:30～17:00 ②12:45
～21:15(交代制)
定員 1人
申し込み 8月22日(必着)までに
直接または郵送で、登録票(教育
総務課で配布)または市販の履歴
書に必要事項を記入し、〒417-
8601 富士市教育委員会教育総務
課へ(後日面接を行います)

嘉興市と五輪開催地「北京」をめぐる旅 “市民友好の翼”参加者

国際交流室 ☎55-2704

期間 10月14日(火)～20日(月)
訪問先 嘉興市・杭州・北京(万里の長
城、故宮、オリンピックスタジアムなど)
対象 市内在住の20歳以上の人
(過去に参加した人は不可)
旅行費用 14万1,000円(うち市で3
万円を補助)
定員 15人(応募者多数の場合抽せん)
申し込み 8月8日～28日(土・日
曜日を除く)に、申込用紙(国際
交流室、各地区まちづくりセンタ
ーで配布)に必要事項を記入し、
直接国際交流室へ
※市ウェブサイトから電子申請もで
きます。

8月の教育委員会会議

8月定例会を次のように開催します
(傍聴できます)

とき 8月20日(水) 13:30～
ところ 市役所8階政策会議室
教育総務課 ☎55-2865

子育てステップアップ講座 ～思春期の子どもの世界～

青少年相談所 ☎52-4152
思春期特有の悩みや不安を理解し、対応方法を学びます。
と き 9月11日、18日、25日の各木曜日 10:00～11:30
ところ 青少年相談所
申し込み 8月21日(木)、22日(金)の8:30～17:15に直接青少年相談所へ
※託児あり(先着順)。

夏休み福祉なんでも学習

ボランティアセンター ☎64-7100
と き 8月23日(土) 9:00～12:00
ところ フィランセ東館3階ボランティアルームほか
内容 車いすサッカー、ポッチャ(足が不自由な人でも楽しめるスポーツ)、サウンドテーブルテニスなどの体験
参加費 無料
持ち物 筆記用具など
申し込み 当日直接会場へ

富士文庫特別コレクションを知る講座 ～古典への誘い「徒然草」～

富士文庫 ☎72-1612
と き 9月からの毎月1回 日曜日 13:30～15:30 計5回
ところ 富士文庫講座室
講師 小出貫暎さん(中国文化学会会員)
定員 30人(先着順)
受講料 無料
申し込み 8月23日(土)の9:00から受け付けます。直接富士文庫へ

富士発・女と男のフォーラム

男女共同参画課 ☎55-2724
①「自分をいやす」ストレスとのつきあい方・自分をふりかえる
と き 8月23日(土) 13:30～15:30
ところ フィランセ東館2階ふくし体験室・学習室
講師 久保伸年さん(臨床心理士)
定員 40人程度
②「子どもたちに伝えたい 食べることの大切さ V」
と き 8月24日(日) 13:30～15:30
ところ フィランセ西館4階大ホール
講師 幾見正信さん(尙幾見養鶏専務取締役)
…① ②とも…
受講料 無料
申し込み 当日直接会場へ
※②は託児あり(1家庭につき300円。8月19日までに小楠 方へ ☎・☎53-6627)。

労働安全衛生講座

商業労政課 ☎55-2778
①「コミュニケーションをもっと素敵にしたかったら」
と き 9月4日(木) 18:30～20:00
対象 市内在住・在勤の人
定員 120人(応募者多数の場合抽せん)
②提案型「メンタルヘルス研修 実践講習」
と き 9月9日(火) 14:00～15:30
対象 市内事業主、人事・労務担当者
定員 40人(応募者多数の場合抽せん)
…① ②とも…
ところ ラ・ホール富士5階研修室
参加費 無料
申し込み ①は8月29日、②は9月8日までに電話またはFAXに住所、氏名、電話番号を記入し商業労政課へ ☎51-1997
※①は託児あり(無料。申し込みのときに要予約)。

元気アップ教室 ～介護予防のための講話や実技～

高齢者地域包括支援センター ☎66-3405

と き (計5回)	と ころ	申し込み・問い合わせ
9月3日からの毎週水曜日 13:30～15:30	吉原まちづくりセンター	9月2日までに電話で快明堂介護センターへ ☎51-0301
9月4日からの毎週木曜日 10:00～11:30	広見まちづくりセンター	9月3日までに電話でニチイケアセンター富士へ ☎73-0271
9月4日からの毎週木曜日 13:00～14:30	丘まちづくりセンター	
9月10日からの水曜日 13:30～15:00	富士北まちづくりセンター	9月9日までに電話でエイワンスポーツプラザへ ☎63-9800
9月18日からの毎週木曜日 10:00～11:30	青葉台まちづくりセンター	9月17日までに電話で社会福祉法人 鑑石園へ ☎52-0085
9月30日からの毎週火曜日 13:30～15:00	浮島まちづくりセンター	9月29日までに電話でリヴ・レーダ(株)へ ☎30-6433

対象 市内在住の65歳以上の人 定員 各25人程度
受講料 無料(ただし、スポーツ安全保険に加入を希望する人は800円が必要)

8月の休日当直医

Available Hospitals in the Holiday
Pronto Socorro em atendimento fim de semana e feriados

ダイヤル当直医案内
☎51-9999

8月の接骨師会 休日当直当番

じゅうどうせいふく Bonsetter
柔道整復 Clinica de osteopatia
9:00～17:00

とき 産婦人科 Gynecology & Obstetrics
Gineco-Obstetrica
8:00～翌8:00

10(日) 船津クリニック 65-7272 川成新町
17(日) 宮崎クリニック 66-3731 松岡
24(日) 池田産婦人科医院 21-2228 石坂
31(日) ロゼレディースクリニック 60-5747 蓼原町

がんか Ophthalmology
眼科 Oftalmologia
9:00～17:00

天神眼科医院 23-7050 富士宮
小森眼科クリニック 21-0333 伝法
なかじま眼科 72-0011 入山瀬
中央眼科クリニック 28-5533 富士宮

じびか Otorhinolaryngology
耳鼻科 Otorrinolaringologia
8:00～17:00

わたなべ耳鼻咽喉科医院 65-6787 松岡
沼津市立病院 924-5100 沼津
田中医院 975-0226 三島
芹沢クリニック 993-8000 裾野

佐藤接骨院 71-7396 天間
渡辺接骨院 61-0548 富士町
永田町接骨院 53-6810 永田町1
田子浦接骨院 61-4131 横割6

救急

Emergency Hospitals
Hospitals de emergencia

ないかしょうにかげか Internal Medicine/Pediatrics/Surgery
内科・小児科・外科 Clinica Geral/Pediatricia/Cirurgias

救急医療センター ☎51-0099 津田217-2
平日19:00～翌8:00 土曜日14:00～翌8:00 日曜・祝日 9:00～翌8:00
(診療上の注意) 必ず保険証を持参してください。緊急性により診察順が変わり、投薬は1日分です。

しか Dentistry
歯科 Dentistas

歯科医師会館 ☎53-5555 伝法
日曜・祝日 9:00～16:00

講座・教室

エンジョイ・キッズダンス (キッズエアロビクス教室)

りぷす富士(富士市交流センター) ☎65-5523
 と き 10月3日からの毎週金曜日
 19:00~20:30 計10回
 ところ 交流センター第1練習室
 対象 市内小学生
 定員 30人 受講料 5,000円
 申し込み 9月1日~7日(必着)
 に、直接またはFAX・はがきに教
 室名、住所、氏名、年齢、生年月
 日、電話番号を記入し、〒416-0915
 富士町20-1 富士市交流センターへ
 ☎65-5538

各種スポーツ教室

スポーツ振興課 ☎55-2876

★初心者ゴルフ教室

練習日・練習場

- リムSCゴルフ (☎36-0022)
9月1日からの月曜日
13:30~15:00 計10回
- 大淵ゴルフセンター (☎35-1500)
9月3日からの水曜日
10:00~11:30 計10回
- ヤマキゴルフガーデン (☎36-0101)
10月10日からの金曜日
18:30~20:00 計10回

定員 各教室12人(先着順)

受講料 4,000円

申し込み・問い合わせ

8月19日(火)から受け付けます。電
 話で市内各会場へ

★親子スポーツ教室(後期)

～ボール運動・跳び箱など～

と き 10月3日からの毎週金曜日
 19:00~20:30 計4回
 ところ 市立富士体育館
 対象 市内在住の小学生とその保護者
 定員 35組(応募者多数の場合、
 初めての人を優先し、抽せん)
 受講料 1組400円(保険料を含む)
 申し込み 9月11日(必着)までに、
 往復はがきまたはEメール
 に住所、参加者の氏名、年
 齢(学年)、電話番号を記入
 し、〒417-8601 富士市教
 育委員会スポーツ振興課へ
 ☎ky-sports@div.city.fuji.shizuoka.jp

实用ワード講座 Windows Vista 版

吉永まちづくりセンター ☎34-1014
 と き 9月5日からの毎週火・金曜日
 19:00~ 計9回
 ところ 市立吉原商業高校パソコン室
 定員 20人(応募者多数の場合抽せん)
 受講料 900円程度(テキスト代含む)
 申し込み 8月19日(火)~22日(金)の
 9:00~19:00に、はがきを持参し直
 接吉永まちづくりセンターへ

そばづくりを体験しよう! チャレンジ!! そばっ子

市立博物館 ☎21-3380

とき・内容(種まき~そばづくり)
 ①8月31日(日)、②11月2日(日)、③
 11月22日(土)、④11月23日(日) ①~
 ③は9:00~12:00、④は9:00~14:00
 ところ 市立博物館体験畑ほか
 対象 小学生とその保護者
 定員 20組40人程度(先着順)
 受講料 1人500円
 申し込み 8月19日(火)の9:00から受
 け付けます。直接または電
 話で市立博物館へ

妊婦さんだけにおくる超プレミアム講座 プレママ・サロン

鷹岡まちづくりセンター ☎71-3215
 と き 9月30日からの毎週火曜日
 13:30~15:00 計8回
 ところ 鷹岡まちづくりセンター第
 1学習室ほか
 内容 アロママッサージ、ヨガ、調
 理実習、ベビーシューズづくりなど
 対象 妊娠安定期に入った健康な人
 定員 20人(応募者多数の場合抽せん)
 受講料 300円(材料費は別途)
 ※申し込み方法など詳しくは、鷹岡まちづ
 くりセンターにお問い合わせください。
 ※託児あり(無料)。

ライフサポートセンター沼津 暮らし何でも相談(無料)

多重債務、仕事、子育て、年金など
 悩みごと相談を受け付けています。
 と き 月~金曜日(祝日を除く)
 9:00~17:00
 ところ ライフサポートセンター沼
 津(沼津市杉崎町4-6「ふれあい会館」内)
 問い合わせ 相談受付ダイヤル
 ☎055-922-3715

りぷす富士(ラ・ホール富士)秋期開講講座

りぷす富士(ラ・ホール富士) ☎53-4300

- ①中高年のためのOA教室(10月2日開講)
- ②フラダンス教室(10月21日開講)
- ③リトミック教室(10月8日開講)
- ④お腹集中!!シェイプアップ教室
- ⑤やすらぎの香りの中でヨガ(10月14日開講)
- (10月24日開講)
- ⑥エアロビクス教室(10月15日開講)
- ⑦陶芸教室(10月24日開講)

※申込方法など詳しくは、ラ・ホール富士にお問い合わせください。

8月21日は「県民の日」市内の施設無料開放

- ★市立博物館 8月21日(木) ☎21-3380
- ★県富士水泳場 8月15日(金)・16日(土)・18日(月) ☎35-6022
- ★富士山こどもの国 8月21日(木) ☎22-5555

ふじ好奇心大学!

~きっとあなたもできる!自分ではじめる仕事の一步~
 工業振興課 ☎55-2779

と き	内 容	定 員
9月18日(木) 10:00~12:00	パネLDiscカッション「きっとあなたもできる!自分ではじめる仕事の一步」	20人
9月25日(木) 10:00~12:00	主婦の持っているノウハウで起業!整理収納をお仕事に	20人
10月2日(木) ①10:00~12:00 ②13:30~15:30	ブログでビジネスチャンスを得よう!	各10人
10月10日(金) 10:00~12:00	はじめるための自分磨き!	20人

ところ ロゼシアター4階会議室 受講料 無料(託児あり)

対象 起業に興味・関心のある人

申し込み 9月17日までに、FAX・Eメールに住所、^{ふりがな}氏名、年齢、職業、電
 話番号、Eメールアドレス、託児希望の有無、性別、受講希望日を
 記入し、工業振興課へ ☎51-1997 ☎info@fainnet.com

※10月2日(木)の講座のみ応募者多数の場合抽せん。

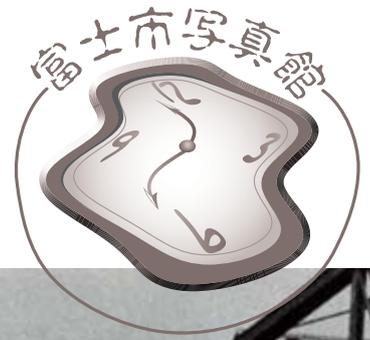


現在の様子

= 53 =



富士川鉄橋流失 昭和57年8月 (東海道線富士川鉄橋)



急流の恐ろしさを感じた鉄橋流失

富士川は急流のため、東海道線と道路（富士川橋）の鉄橋は、工事完成までかなり苦労したそうです。私の曾祖父は、富士川橋の工事作業中に亡くなっています。私は、富士川の近くに住んでいるので、子どものころは、富士川を泳いで横断したものです。しかし、雨が降ると増水し、ものすごい勢いの濁流となり、大変危険であることもよく知っていました。昭和57年8月2日は、台風10号で未明から激しい雨が降っていました。ニュースで、東海道線下りの富士川鉄橋が流失したことを知り、近所の人と見に行きました。すると、橋脚は押しつぶされ、橋げたが川下に流されていました。また、富士川の近くにあった私の梨畑は浸水して、車2台が浮かび、魚が入っていたこともよく覚えています。改めて「急流富士川」の恐ろしさを感じたときでした。

その後、2か月以上もかかって、富士川鉄橋はようやく修復されましたが、大変不便だったことを思い出します。

もうすぐ富士市と富士川町は合併しますが、これからも富士川鉄橋は新しい富士市を結ぶ架け橋であり続けてもらいたいですね。



流失した富士川鉄橋の状況を見た
望月 國守さん（松岡）

こちら編集室

今回、戦争特集の取材に同行し、皆さんから戦争について「生の言葉」を直接聞かせていただいた。終戦から63年経過した今も、戦争を体験した人々は忘れられない深い思いを抱えながら生きている…。終戦30年後に生まれた私には、皆さんの「生の言葉」のように戦争を語ることはできない。しかし、今日の私たちの生活は、こうした多くの深い思いが詰まった歴史の延長線上にあり、この先の歴史も私たちの日々の積み重ねによって築かれていくということを忘れてはならないと強く思った。(一)

人口 244,164人 (前月比-47)
男 121,086人 (-29)
女 123,078人 (-18)
世帯 89,658世帯 (-12) 7月1日現在
編集・発行 富士市総務部広報広聴課
〒417-8601 静岡県富士市永田町1-100
☎0545-51-0123(代) ☎0545-51-1456

平成20年8月5日号 (毎月5日・20日発行)